

操作手順と注意事項

FLOW & NOTES

操作手順（遺体ご安置、扉固定後）

車載タイプ火葬炉 PT-1150V



- | | |
|----|--|
| 01 | 煙突のフタを最大に開けてロックする。 |
| 02 | タンクの燃料チェック及びコック開け、バーナーの送風目盛を確認する。開度2~3に設定。 |
| 03 | 電源スイッチをONにする。発電機コードをコンセントに差し込んでいる場合は「発電機」で電源ON。 |
| 04 | 排気ファン スイッチON。 |
| 05 | 燃烧空気ファン スイッチON。 |
| 06 | 二次バーナー 送風ファンON。 |
| 07 | 二次バーナー 点火スイッチONにして、点火を目視確認。 |
| 08 | 一次バーナー送風スイッチON。 |
| 09 | 【脂肪少】一次バーナー高燃で最初から最後まで火葬する（空気目盛3）
【脂肪多】脂肪少と同様に高燃焼で火葬を開始するが燃焼開始5分程度で低燃焼へと切り替えて自燃モードへ入る。（空気目盛2） |

10	煙を出さない火葬を試みてください。 遺体の燃焼開始は一次室の温度表示が600℃以上になって始まります。 温度が高い個所は炎の先端で、扉に近いエリアです。
11	二次バーナー点火は20分間程度で終了し、その後は送風のみで運転します。 煙発生あれば再度点火する。
12	火葬完了の判断は、一次バーナーの点火をOFFで窓から炉内を確認、脂肪残りの小さい炎が消えたときを完了とする。
13	火葬完了を確認後、空冷を開始（排気ファン、燃焼空気ファン、一次・二次バーナーの送風全開運転）
14	お骨上げは一次燃焼室の温度が300℃以下になって開始します。（排気ファン、二次バーナーの送風はON継続）

! 注意事項

- ① 二次バーナーの送風は火葬中は必ずONにして高温ガスのバーナー侵入を阻止してください。
- ② 11月から4月は空気が濃く、5月から10月は薄くなります。空気量は冬季は少な目で、夏季には多くする設定となります。
- ③ 送風機の目詰まりで炉が空気不足になり火葬が出来なくなる場合があります。バーナーと送風機は半年に一度、目詰まり点検、掃除してください。

※ご注文後に、別途詳細のご説明や資料の共有をさせていただきます。どうぞご安心ください。